

熊本県身体障害児者施設協議会

会長 三浦 貴子 様

拝啓 盛夏の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度の熊本地震に際しましては、当事業団のくすのき園と身体障がい者能力開発センターへご丁寧なお見舞いと沢山の支援物資をいただき、厚くお礼申し上げます。

当事業団は、この他ひばり園など全部で6施設の社会福祉事業を営んでおります。このうち5施設で水道施設等の被害を被り、障がい者の支援を行うには大変厳しい環境ではございましたが、身体障がい者福祉センター及び身体障がい者能力開発センターの2施設が熊本市の福祉避難所として、被災された障がい者の皆様やその御家族の受け入れをさせていただき、6月末までにのべ2800人の受け入れを行っております。

被災から3か月あまりが経過し、身体障がい者福祉センターの福祉避難所は、6月一杯で避難者全員の方が公営住宅やご自宅、仮設住宅等で新たな生活を初めておられます。また、身体障がい者能力開発センターの福祉避難所も避難者の方が徐々にご家族の元に戻られており、くすのき園も水道施設が復旧し事業団の通常の支援サービス体制に戻りつつあるところです。

これもひとえに、皆様のご協力とご支援のお陰と深く感謝申し上げます。

今後とも、事業団職員一同心をひとつにして復興に向けて頑張ってお参りたいと存じます。

お礼が遅くなり、また、甚だ略儀ではありますが、書中をもってご報告方々、ご支援ご援助のお礼を申し上げます。

敬具

平成28年7月吉日

社会福祉法人 熊本県社会福祉事業団

理事長 長野潤一

職員一同

